

桂川幸助

織の景色



宙19 綴織 200×120(cm) 2019年

みどころ

手作業というもの

タピスリーは大きなものだと制作には3~4か月が必要となり、時間と手間がかかります。しかし、手間をかけた分そこに込められた作り手の思いは作品に強さを与えており、それゆえに今も人々は手で作られたものに惹かれ続けるのでしょう。AI化、機械化が進んでいる現代だからこそ今回の作品のなかの桂川氏の手作業の痕跡を是非、間近でご覧ください。

染や織で生まれる色彩

桂川氏はタピスリーに使う糸を全て自身で染めています。作品のイメージに合わせて調合し、またそれらの糸を組み合わせ織っていくことで生まれる色彩は、絵の具で描かれた絵画作品のように感じさせられます。染や織の作業の中で生まれた独特の色彩をお楽しみください。

令和元年11月23日(土・祝)

令和2年1月12日(日)

会場：相模原市民ギャラリー
アートスポット

時間：午前9時 午後5時

休館日：毎週水曜日および

年末年始

(令和元年12月29日 令和2年1月3日)

観覧料：無料

展示概要

本展は相模原市にゆかりのある画家などを紹介するミニ展示シリーズの66回目です。今回は、緑区青野原に工房を構え、精力的な活動をしている染織家・桂川幸助氏のタピスリーの作品を紹介します。

室内装飾用の織物の一種であり、絵画表現に近い特徴を持つタピスリーですが、桂川氏の作品もその特徴を取り入れながら独自の色彩や温かみが魅力となっています。

今回は、近年に制作された 宙シリーズ を中心とした計9点のタピスリーの作品を展示します。

作家経歴

1950年	東京都出身
1973年	多摩美術大学デザイン科染織デザイン専攻 卒業 多摩美術大学染織デザイン研究室 勤務
1979～1980年	フランス アンジェ州立美術学校 留学
1995年～	光風会展 審査員
1997～2005年	多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイルコース 非常勤講師
1998年～	タピスリー桂川(染織工房・手織教室) 開設
現在	社団法人 光風会 常務理事

【受賞】

1975年	全日本染織展	佳作
1978年	神奈川県美術展	美術奨学会賞
1991年	第77回光風会展	会友賞
1994年	第80回光風会展	会員記念賞
2001年	第87回光風会展	杉浦非水記念賞

【展覧会】

1979～1985年	日本新工芸展
1984年～	光風会展(以後毎年出品)
1985・1986年	日展
1989～2012年	個展9回 [千疋屋ギャラリー]
1990～1993年	現代作家タピスリーと彫刻展 [草月ギャラリー]
1991年～	明日へのかたち展 [京都文化博物館](以後毎年出品)
1995～2001年	FIBER AS ART展
1997年	第5回国際テキスタイルコンペティション 97 京都 [京都文化博物館]
1999年	第85回記念光風会新鋭選伐展 [銀座セントラル美術館]
2002年	個展 [ハヶ岳倶楽部]
2004・2008年	個展 [京王百貨店]
2005～2007年	個展 [Gallery 美杉台]
2009年	個展 [金精軒ギャラリー]
2011年	個展 [ギャラリー英]
2012年	個展 [FEI ART MUSEUM YOKOHAMA]
2013・2016年	個展 [京王百貨店] 個展 [HFG ギャラリー]
2014年	個展 [ギャラリー英]
2016・2017年	日展
2018年	個展 [京王百貨店]

展示作品(一部)



宙 綴織 200×140cm 2017年



奏風 06- 160×120cm 2006年

問合せ先
相模原市民ギャラリー
042-776-1262
担当 大城(おおしろ)